



▲まちづくり情報特派員の皆さん。左から、石塚 敦さん(下延沢)、石崎雅美さん(円中)、武藤一美さん(金井島)、小田 猛さん(上延沢)、嶋田健雄さん(円中)



まちづくり情報特派員は、 どんなことをしているの？

問 企画政策課 ☎84-0312

広報かいせいの記事を書いている「まちづくり情報特派員」。毎月記事は読んでいるけれど、いつから活動していて、どのようなことをしているの？という疑問に今回はしっかりと答えていきましょう！

特派員記事ができるまで

企画



次のテーマは何にしようかな？

取材



体当たり取材もします！

まとめ・編集



まとまらない～(；_；)

実は私、初代のまちづくり情報特派員を務めていました！15年前に、町からのお知らせを受け取るだけでなく、町民目線でも発信できるところに魅力を感じて応募したのを覚えています。当時のまちづくり情報特派員は、広報委員時代の仕事に加えて、特集記事を担当していました。



▲石崎まちづくり情報特派員の初仕事「町内の茅葺き屋根のお宅を訪ねて」のレポート(平成16年5月号)

取材後記

まちづくり情報特派員は、平成のちょうど真ん中、平成15年にスタートしていたのです。発足から15年。町を取り巻く環境も随分と変わりました。メンバーも随分と入れ替わったけれど、町民目線で町の情報を発信していくことは変わりなく続いています。平成はもうすぐ終わるけれど、これからの新しい時代の情報特派員の活動にご期待ください！

まちづくり情報特派員 石崎雅美

私が初めて書いた特集記事は、「町めぐり・時めぐり」みんなで探そうふるさととの暮らしと風景」(平成16年5月号)です。隔月で町内にある茅葺屋根のお宅を紹介しました。

意見番から町民目線で町の魅力発信へ

まちづくり情報特派員の活動は時代と共に随分と変化してきました。広報かいせいへの意見や提案、記事作成を担当するだけでなく、平成28年度からは、紙面を飛び出し、ケーブルテレビJ..COMのミニコーナー「かいせい旬りポ」のリーダーも務めています。地域の行事やイベントなど、町の旬な情報をあじさいちゃんと一緒にお届けしています。今後も町民だからこそ発信できる、町の魅力をお伝えします！

平成15年に誕生！

まちづくり情報特派員が誕生したのは平成15年4月。それまでは「広報委員」として、広報紙への意見や提案、町のイベントの取材・執筆(現在のまちかどトピックスの一部)をしてきました。「もっと町民目線で広報を届けたい」という町の想いを受け、応募した町民5名がまちづくり情報特派員として任命されました。

- 平成19年(2007)
 - 台風9号により、十字橋落橋 **4**
- 平成22年(2010)
 - 開成南小学校開校 **5**
- 平成23年(2011)
 - 東日本大震災
- 平成27年(2015)
 - 町制施行60周年
 - 開成みなみ街開き
- 平成31年(2019)
 - 開成駅急行停車 **6**



▲開成南小学校の開校を、カラー4ページで大特集した。(平成22年1月号) **5**



▶開成駅への急行停車を記念し特集した。(平成31年1月号) **6**



▲落橋した十字橋。水害の恐ろしさを痛感した。早期復旧に向け、多くの人が尽力した様子を伝えた。(平成19年10月号) **4**

平成とともに成長

私にとって平成は、学生生活や結婚、娘の誕生などライフイベントが詰まった時代でした。平成が終わるのは寂しいですが、新しい時代に期待が高まっています。また、町の発展も期待しています。開成駅が急行停車駅になると聞いた時には、町の発展を実感しましたし、将来が楽しみになりました。

私は来年、家族で開成町に戻る予定です。私が子どもの頃、近所の方がとてもかわいがってくれました。今でも実家に戻ると声をかけてもらえます。娘にも同じように地域の温かさを感じながら育ててほしいと思います。



鳥海 翔さん
1989年生まれ/29歳
(円中出身)

鳥海さんご一家。写真左から晴香さん、結希ちゃん、翔さん

広報はこちらで見られます

今回ご紹介した過去の広報かいせいは、町図書室で、閲覧のみ可能です。また、平成20年1月号以降の広報かいせいは、町ホームページにも掲載中です。ぜひ、ご覧ください！

図書室の詳細はこちら→



広報かいせいはこちら→



Next

